

令和8年6月5日

調 査・研 修 報 告 書（会派個人用）

会派名：市民の会

報告者：堀井 慎一郎

実施場所：明治大学 アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール	実施日：令和8年5月27日～28日
■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など） 人口減少下における、様々な主体による新たな取り組みを学ぶことを目的とし参加した。	
■参考とすべき事項 ・平成の大合併や、地方行革「集中改革プラン」等のこれまでの地方分権改革の流れ ・都道府県、市町村の役割分担の最適化や国による事務効率化に向けた国によるプラットフォームの提供 ・人口減少を前提としたスマートシュリンクの考え方と実践例 ・民間による地域づくり、街づくりの実践例	
■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など） 人口減少下における、これからの地方自治を考える時に、まずはこれまでの地方行革の流れ、都道府県と市町村の役割分担がどのように変わってきたかを理解し、現在の役割分担の中で、まちづくりを行っていくことが必要と感じた。 庄原市においても、人口減少を食い止め、人口増加を目指した政策から、人口減少のスピードを緩やかにすることに主眼を置いた政策へとシフトしていく中で、いかにして住みたくなる街、みんなが元気で暮らせる街を作っていくのか、これまで以上に民間発の提案や取り組みを支援、または共に取り組んでいくことが重要である。	

※ 調査・研修終了後、一週間以内に会派事務局へ提出してください。